

## 優れたQOLサポーターになるための3ポリシー (救急救命学科)

優れたQOLサポーターの資質・能力 S T E P S		ディプロマ・ポリシー 卒業認定方針	カリキュラム・ポリシー 教育課程編成方針	アドミッション・ポリシー 入学者受け入れ方針
S	Science & Art 科学的知識と技術を活用する力	救急救命士に必要とされる専門的な知識と技術を有し、それらを活用できる。	基礎医学、臨床医学、災害や防災についての基礎的知識を学習するために専門基礎科目を配置する。救急救命専門領域のより専門的・発展的事項を学習し、救急救命技術を修得するために専門専攻科目を年次に従って段階的に配置する。学習にあたっては、学生個々の特性に対応した支援を行う。成果は、国家試験合格率・資格取得率で評価する。	高等学校卒業相当の英語・国語・数学など、入学選考試験にて出題する教科・科目の基礎学力を有する。
T	Teamwork & Leadership チームワークとリーダーシップ	救急救命士の立場から医療チームの一員として他の専門職とも協働して、国際化した社会において職務を遂行できる。	国際化した社会において、チーム医療の一員として対象者のサポートにあたる救急救命士の役割を認識し、協調性、コミュニケーション力、リーダーシップを身につけるために他学科と合同で実施する保健医療福祉連携科目や専門科目・実習を配置する。成果は、連携総合ゼミ、臨地実習で評価する。	他者の考えを理解するとともに、自身の考えを適切に表現し、誰とでも対話し、協力して行動しようとする能力を有する。
E	Empowerment 対象者を支援する力	健全な人間性、倫理観、奉仕の精神をもち、対象者を支援することで国際化した社会に貢献できる。	幅広い教養や対象者に共感し、支援できる素養を涵養するために、全学共通科目を配置する。救急救命士として地域・社会で活躍できる素養を身につけるために専門科目を配置する。成果は、実習試験 (OSCE: 客観的臨床能力試験)、臨地実習で評価する。	常に人に対する思いやりの心をもち、他者と協調する態度とともに、自ら積極的に学習し、行動しようとする態度を有する。
P	Problem-solving 問題を解決する力	救急救命士として修得した専門的知識と技術を総合的に活用し、さまざまな場面において科学的に考え、的確な判断ができる。	問題を発見する能力、解答への道筋をみつけだす能力、解答を創造する能力を高めるためにゼミ形式の授業を配置する。PBL (課題解決型学習)に基づく個人および小グループでのアクティブラーニングにより、問題提起から論理的思考による解決、その過程のまとめと発表までの工程を経験し、論理的思考に基づく問題解決力を修得する。成果は、卒業研究Ⅱにより評価する。	ある事象に対して妥当な判断をくだすために、論理的な視点から多面的に考える能力を有する。
S	Self-realization 自己実現意欲	専門分野や地域社会に関して対して常に关心をもち、自主的・継続的に自己研鑽に努めることができる。	地域社会の中での救急救命士の役割を理解し、優れたQOLサポーターとして自主的・継続的に自己研鑽に努める心構えを身につけるため、ゼミ形式による科目も含め、専門科目を1年次から4年間にわたって配置する。成果は、科目試験およびゼミ授業により評価する。	救急医療や防災について関心があり、救急救命士として救急現場や災害現場の最前線で活躍し、地域社会に貢献したいという高い意欲を有する。
備考		学則の第1条参照	カリキュラムの構成についてはカリキュラム・マップ参照	入試の詳細は学生募集要項参照

注：建学の精神「優れたQOLサポーターの育成」のもと、優れたQOLサポーターに求められる資質・能力を5項目あげ、その英語の頭文字をとって「STEPS」と定義している。